

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成20年5月22日(2008.5.22)

【公表番号】特表2008-505389(P2008-505389A)

【公表日】平成20年2月21日(2008.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-007

【出願番号】特願2007-519201(P2007-519201)

【国際特許分類】

G 06 F 12/12 (2006.01)

G 06 F 9/46 (2006.01)

G 06 F 12/10 (2006.01)

G 06 F 12/08 (2006.01)

【F I】

G 06 F 12/12 5 5 3 C

G 06 F 9/46 3 5 0

G 06 F 12/10 5 5 3 B

G 06 F 12/08 5 4 3 B

G 06 F 12/08 5 6 5

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月1日(2008.4.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コンピュータ・システムのメモリの可用性を管理する方法で、前記方法が、
空きメモリ空間の下限閾値をメモリ負荷の関数として自動的に変更するステップと、
空きメモリ空間が前記下限閾値未満になったときに、利用できるメモリ空間を増やすス
テップとを有する、方法。

【請求項2】

コンピュータ・システムのメモリの可用性を管理する方法で、前記方法が、
スレッド待機率が目標スレッド待機率と差が出てきたときに、空きメモリ空間の下限閾
値を自動的に変更するステップで、前記スレッド待機率が単位時間あたりの空きメモリの
待機リストに待機しているスレッドの平均数である、前記ステップと、
空きメモリ空間が前記下限閾値未満になったときに、利用できるメモリ空間を増やすス
テップとを有する、方法。

【請求項3】

前記スレッド待機率が前記目標スレッド待機率よりも高くなったときに、前記下限閾値を
上げる、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記スレッド待機率が前記目標スレッド待機率よりも低くなったときに、前記下限閾値を
下げる、請求項2に記載の方法。

【請求項5】

前記スレッド待機率が前記目標スレッド待機率よりも高くなったときに、上限閾値を上
げ、前記上限閾値を使って、ページ置換デーモンを実行するとき、利用できるようにするメ
モリ空間の量を判断する、請求項2に記載の方法。

【請求項 6】

前記スレッド待機率が前記目標スレッド待機率よりも低くなったときに、上限閾値を下げ、前記上限閾値を使って、ページ置換デーモンを実行するとき、利用できるようにするメモリ空間の量を判断する、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 7】

前記スレッド待機率を、空きメモリの待機リストで待機している全スレッドが費やすクロック・ティックの累積数をカウントして、前記累積数を前記ページ置換デーモンの連続 2 回の実行の間のクロック・ティックの総数で割って計算できる、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 8】

前記スレッドが現在前記空きメモリの待機リストにある第 1 スレッドと、前記ページ置換デーモンの前記連続 2 回の実行の最初の実行の後に前記空きメモリの待機リストにあったが、もはや前記空きメモリの待機リストにない第 2 スレッドとを有する、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記スレッド待機率を、空きメモリの待機リストに現在あるスレッドの数をある数で割つて計算できる、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 10】

前記数が整数の 2 である、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

空きメモリ空間が前記下限閾値未満になったときにページ置換デーモンを実行し、前記ページ置換デーモンが利用できるメモリ空間を増やす、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 12】

空きメモリ・フレームの数が下限閾値未満になったときに前記ページ置換デーモンを実行し、前記ページ置換デーモンが、フリー・フレームの数が上限閾値に達するようにフレームの数を解放するステップを有する、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

コンピュータ・システムのメモリの可用性を管理するためのプログラムであって、該プログラムが、

空きメモリ空間の下限閾値をメモリ負荷の関数として自動的に変更するステップと、

空きメモリ空間が前記下限閾値未満になったときに、利用できるメモリ空間を増やすステップとをコンピュータに実行させるプログラム。

【請求項 14】

コンピュータ・システムのメモリの可用性を管理する装置で、前記装置が、

空きメモリ空間の下限閾値をメモリ負荷の関数として自動的に変更する手段と、

空きメモリ空間が下限閾値未満になったときに、利用できるメモリ空間を増やす手段とを有する、装置。